



No.195

2026.4月



三木町 議会だより

CONTENTS

3月定例会

- 議案を審議 3～8
 - 第1回臨時会を開催
 - 第1回定例会を開催
 - 新年度予算をチェック
- 一般質問 10～12
 - 5人が登壇・町長に見解を求める
- 委員会レポート 13～14
- 決算特別委員会指摘事項6項目 15
 - 町長はこう答えた
- 元気なグループ紹介 16
 - 「テニスサークル太古の森」代表 石原 勉



春らんまん 白山望む



▲こども園安全祈願祭

三木町議会 定例会

令和9年度開園予定

三木町立みぎのこにぎも園(仮称)

工事請負契約締結

| 各会計の当初予算 | | |
|----------------|-------------|-----------|
| 一般会計 | 135億7,000万円 | |
| 国民健康保険事業特別会計 | 31億5,300万円 | |
| 介護保険事業特別会計 | 31億6,530万円 | |
| 介護予防サービス事業特別会計 | 2,750万円 | |
| 後期高齢者医療事業特別会計 | 5億8,740万円 | |
| 下水道事業会計 | 収益的収入 | 5億9,578万円 |
| | 収益的支出 | 5億9,578万円 |
| | 資本的収入 | 7億 103万円 |
| | 資本的支出 | 8億2,920万円 |

| 債務負担行為 | |
|--------------|---------|
| 香川県議会議員選挙 | 439万円 |
| 三木町議会議員選挙 | 924万円 |
| 立地適正化計画等策定事業 | 1,214万円 |
| 香川用水施設改築事業 | 3,336万円 |

| 主な事業（一般会計） | |
|-------------------|-----------|
| 新型コロナウイルスワクチン接種事業 | 2,817万円 |
| 白山文化センター施設整備事業 | 2億6,070万円 |
| 子育て支援金交付事業 | 411万円 |
| 就学前施設再編整備事業 | 8億3,032万円 |
| 多機関協働事業 | 540万円 |
| 町道新設改良事業(防安金) | 3,700万円 |
| GIGAスクール | 1億6,423万円 |
| 小・中学校学校給食費補助事業 | 2,858万円 |

令和8年3月議会は、4日から19日までの16日間で開催され、新年度当初予算など40議案を可決・同意した。一般会計は、賛成多数で可決され、前年度比4.4%増の135億7000万円。

主な事業は、みぎのこども園(仮称)建設、白山文化センター建設、GIGAスクール事業のタブレット更新、子育て支援券廃止による現金給付事業、町道新設改良事業(砂入荒木線)など。

一般質問には5人が登壇し、財政計画や防災計画について執行部の考えをたじた。また、1月29日には第1回臨時会が開催され、工事請負契約や専決処分、補正予算などを可決・承認した。

議案を審議

第1回臨時会

令和8年1月29日

一般会計補正予算

生活応援クーポン券
町民一人あたり一万円

国の総合経済対策による交付金を活用した事業で、町内の取扱い店舗で利用できるクーポン券を配布する経費を措置

2億8151万円

子育て応援手当
子ども一人あたり2万円

国の物価高対応による交付金を活用した事業で、0歳から高校3年生までの子どもに支給する経費を措置

8905万円

衆議院議員総選挙費

令和8年2月8日執行予定の総選挙経費を措置
1734万円

工事請負契約の締結

こども園

新築工事業者が決定

令和9年度開園予定のこども園の建築工事に7社が応札した。

契約金額 12億5950万円
契約者 (株)小竹組

問 鈴木議員

こども園建設に伴う、町の実質負担はいくらになるのか。

答 副町長

予算ベース13億円のうち、補助金は7000万円を予定。有利な地方債で11億円を借り、交付税措置などを差引くと、約7億円が町負担となる見込み。

第1回定例会

条例改正等

三木町使用料、手数料
徴収条例等の一部改正

料金体系を統一し、施設間で生

じているばらつきを見直すこと、受益者負担の原則に基づき、冷暖房使用料についても新設する。

開館時間の見直し

利用者の利便性、施設運営の効率化、職員の負担軽減等を総合的に判断し、閉館時間を概ね午後9時に統一し、人件費や光熱水費の軽減を図る。

【詳細については各施設・各課のホームページを参照】

三木町税条例等の一部改正

納期限を過ぎても納付されない場合、20日以内に督促状を発送し、手数料として100円を徴収しているが、事務負担の軽減を図る観点から、督促手数料の徴収を廃止する。

三木町火入れに関する条例の一部改正

高松市火災予防条例において「林野火災注意報」及び「林野火災警報」の発令に関する改正があったことから、火入れの中止の条件に同注意報及び警報の発令を追加する。

三木町インターネット上の誹謗中傷等の防止に関する条例の制定

インターネット上の誹謗中傷等の防止に関する基本的理念、町の責務及び町民等の役割を明らかにし、施策の基本事項を定める。

三木町子育て支援券交付条例を廃止する条例の制定

国の子育て支援施策の拡充に伴い、三木町子育て支援券交付条例を令和7年度をもって廃止する。

問 中川委員

子育て支援券に代わる代替案をどのように考えているのか。

答 町長

子育て支援券の交付は廃止するが、内容を見直し、現金給付事業として、引き続き実施する。



新年度予算のチェック!!

新年度の一般会計や特別会計等には、多くの予算項目がある。町の財政事情、将来の見通し、事業の内容などを議員の目で、チェック（審議）した。

廃止事業

問 川波議員

敬老記念品の廃止理由は。

答 福祉介護課長

物価高騰や送料の値上げ、高齢者の増加により、今後必要とされる医療、介護、老人福祉などの分野に充当していくためである。

施設使用料の徴収

問 中川議員

4月から公共施設使用料の徴収が始まる。備品等に不具合があつ

た際の修繕費又は購入費は、施設使用料に含まれているか。

無料で利用できているうちは、ある程度までは辛抱するが、使用料が発生する場合、要望があれば速やかに修繕、購入をお願いしたい。

答 生涯学習課長

4月からの減免制度見直しによる使用料負担に加え、10月から新料金に改定、来年10月からは、冷暖房使用料も加算となり、利用者には更なる負担となる。利用者には更なる負担となる。利用者には不便がないよう施設の適正な維持管理に努める。

答 町長

常識で考えて、お金を取るのならば全部直せというのは、乱暴ではないか。



▲公共施設使用料徴収の影響はいかに!?

中学校給食を給食センターへ統合

問 友保議員

町長の施政方針演説で、統合方針が初めて示された。中学校で勤務している給食調理員の今後と、こども園開園時と同時期の統合理由は。

答 教育総務課長

こども園は町雇用での自園調理、給食センターは委託事業者の雇用であり、調理員本人の希望で選択することになる。

答 町長

令和9年度のこども園開園と同時期とする主な理由は、中学校給食調理場の老朽化や調理員配置の再編、施設運用の効率化などを勘案した。

また、給食センターの処理能力や児童生徒数の推移も踏まえ、現時点で統合が可能と判断した。



財政

問 安西議員

給食センターとこども園建設による現在の財政状況は、町長のイメージ通りか。

答 町長

扶助費（福祉関連）や物件費等の費用が上振れて、想定より厳しい。他市町も同じような状況である。税収が上向していることが救いである。

子ども・教育

問 溝渕議員

GIGAスクールとして、児童生徒が利用してきたタブレット端末の更新に1億4980万円。多額の購入費用だが、毎回かかるのか。端末は廃棄するのか。

答 教育総務課長

5年毎の更新で、今回は国の補助を活用するが、5年後は不明。今回不要になる約2000台の端末をデータ削除処理後、一台3000円で売却処分する予定である。



▲更新されるタブレット

問 溝渕議員

地域子育て支援拠点事業等に1817万円。

新設の町立こども園でも、本事業を実施する予定はあるのか。

答 こども課長

現在、私立の氷上こども園と砂入保育園で実施し、多くの利用がある。新設のこども園では実施せず、ししの子こども園で行う予定である。

道路・防災・環境

問 川波議員

町道砂入荒木線の今後の計画は。

答 土木建設課長

令和8年度は、コトデン線路北側から交差点や踏切への取り合わせなどの工事を実施する。

問 安西議員

自主防災組織活動費補助金が、

令和7年度の半分近くの60万円になっている理由は。

答 総務課長

1組織2万円限度の補助金で、112万円を見越していたが、実績が7組織であったため。



▲南山田地区の自主防災訓練



▲炊き出しの様子

問 中川議員

重機操作等研修の内容と受講予定者数は。

答 総務課長

小型車両系建設機械の研修であり、整地等特別教育25名、解体に係る特別教育30名で実施の予定。町職員、三木消防署員、消防団員を対象としている。

問 鎌倉議員

飼い主のいない猫への不妊去勢手術補助の実績は。

答 環境下水道課長

県の3か年集中対策に合わせて実施。1頭1万円を上限に補助し、昨年は18件実施した。



▲みんな仲良く暮らせるように

農林

問 友保議員

土地改良費の負担金及び交付金の内訳は。

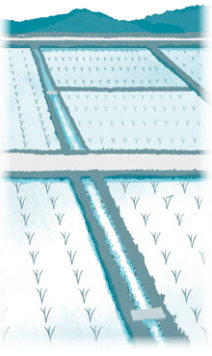
土地改良区ごとに組合員数や財政規模に差があり、運営補助金の配分の公平性が問われている。補助金決定の考え方は。

答 農林課長

運営補助金は、三木町土地改良区450万円、二股土地改良区約58万円、新川沿岸土地改良区連合46万円、合計約554万円となっている。

現在の土地改良区への運営補助金は、平成27年度に改良区への聴き取りを行い、他市町の事例を参考に決定した。

今後、行財政改革の一環として、各土地改良区と協議し、補助金のあり方を見直していく。



人権・福祉

問 溝淵議員

人権に関する町民の意識調査に100万円が計上されているが、調査方法、対象者等は。

答 人権推進課長

無作為に抽出した18歳～80歳までの1000人を対象に、人権の考え方等のアンケートを実施する。

また、就労や教育等の実態調査も行う。結果は人権施策の参考にする。

問 溝淵議員

高齢者の生きがいづくりは健康長寿につながり、老人クラブ等の活動は大事である。参加人数等は。

答 福祉介護課長

老人クラブは、令和7年5月時点で18団体、673人が参加。見守りや交流等を行っている。

老人大学は300人が入学、10回の授業に延べ2014人が出席した。好評を得ている。

問 溝淵議員

平木コミュニティ会館管理事業に313万円。

入浴施設の休止後、会館の活用は。

答 福祉介護課長

地域の居場所として、教養娯楽、福祉相談、貸館、地域子ども生活支援事業などで活用する予定である。



▲居場所の継続を願う人々

問 溝淵議員

県の新年度予算では、加齢性難聴対策として、補聴器購入補助が事業化されている。

本町で予算化されていない理由は。

答 福祉介護課長

補助を受けるには県派遣の言語聴覚士から検査等を受ける必要があるが、言語聴覚士が少なく、対象者が限られる等のため、周辺市町の動向を注視する。

問 鎌倉議員

障害児通所支援費が年々増加している要因は。

答 福祉介護課長

乳幼児健診や特別支援教育の充実、発達障害の診断技術の向上等により、支援が必要な児童の把握の掘り起こしが進んだと考えられる。

工事請負契約の締結

令和7年度虹の滝キャンプ場再整備工事(その2)

| | |
|--------|---------|
| 契約金額 | 9680万円 |
| 契約者 | (株)谷井建設 |
| 契約方法 | 入札後審査型 |
| 一般競争入札 | |

補正予算

一般会計

決算見込みによる事業費の増減や財源補正など、211事業に及ぶ補正予算案を審議。補正後の総額を約3億8343万円増の、約149億6060万円となる一般会計補正予算を可決した。

問 溝淵議員

保育所の会計年度任用職員が未採用なのは、本町の採用条件が他市町に比べて厳しいからではないのか。

答 ことも課長

保育士の確保は全国的に厳しい状況であり、応募自体が少ないことや、応募があっても勤務条件との兼ね合いで採用に至らないケースがあるのが実情。

ただし、他市町と比較して特段条件が厳しいという認識は持っていない。

問 渡辺議員

住宅用太陽光発電システム設置費補助金の申請数の傾向は。

答 環境下水道課長

年度でばらつきはあるが、全体としては増加傾向にある。当初予算もその傾向を踏まえて計上したが、最終的に予算に満たなかったため、減額補正した。

問 鈴木議員

畜産クラスター事業は新規の大規模施設で、地元住民の賛否が分かれている。責任ある判断をするためにはより丁寧な検討が必要では。

答 農林課長

本事業は県が主体となり、畜産農家の規模拡大や生産性向上を支援するもの。具体的には施設整備、機械導入、衛生管理の高度化などが対象。県・J・A・農家が協議し、国の補助制度を活用して事業計画を進めている。

国・県の制度上、町が補正予算

を計上しなければ、事業者が補助金を受けられない仕組みである。

答 町長

畜産振興の観点から重要な事業である一方、地元住民の不安や懸念に対して、十分な説明と理解を得ることが不可欠であると考えている。

国民健康保険事業特別会計

14事業を審議し、補正後の総額を約2740万円増の32億7173万円となる補正予算案を可決した。

介護保険事業特別会計

27事業を審議し、補正後の総額を1248万円増の約32億1597万円となる補正予算案を可決した。



介護予防サービス事業特別会計

2事業を審議し、補正後の総額を約232万円減の約2747万円となる補正予算案を可決した。

後期高齢者医療事業特別会計

3事業を審議し、補正後の総額を約1626万円増の約5億4032万円となる補正予算案を可決した。



下水道事業会計

収益的支出及び資本的支出についての4事業を審議し、補正後の収益的支出を約550万円減の約5億8824万円、資本的支出を約5825万円減の8億2023万円となる補正予算案を可決した。

人事

農業委員会委員

19名の任命に同意

| | |
|------|------------|
| 大林久輝 | 大字上高岡(65歳) |
| 多田幸子 | 大字氷上(78歳) |
| 内原康考 | 大字田中(66歳) |
| 渡辺茂雄 | 大字井戸(64歳) |
| 岡田久 | 大字鹿庭(79歳) |
| 細川浩司 | 大字平木(53歳) |
| 鈴木勤 | 大字氷上(76歳) |
| 三谷実 | 大字鹿伏(63歳) |
| 大相一義 | 大字鹿伏(70歳) |
| 高重浩二 | 大字氷上(62歳) |
| 松下幸夫 | 大字井戸(76歳) |
| 松田隆雄 | 大字田中(75歳) |
| 高尾壽一 | 大字井上(74歳) |
| 上城敏嗣 | 大字朝倉(67歳) |
| 本田正聡 | 大字氷上(67歳) |
| 川田正憲 | 大字井上(76歳) |
| 溝渕廣明 | 大字田中(73歳) |
| 吉原茂 | 大字下高岡(67歳) |
| 佐竹一夫 | 大字下高岡(52歳) |

自治功勞表彰

地方自治の振興に功勞があつたとして、香川県町村議会議長会自治功勞者(在職10年以上)に小島議員、鈴木議員の2氏が表彰され、その伝達が3月4日、本会議場で行われた。



鈴木 宏明 議員



小島 重俊 議員



請願・陳情等のゆくえ

令和8年請願第1号 令和8年2月19日受付

道の駅の誘致と産地直売所の整備に関する請願
NPO法人三木町北部地区の生活環境を良くする会
会長理事 泉 浩二他230名
紹介議員 中川 和樹 渡辺 達実 川波 礼子

委員会付託

令和8年2月20日受付

東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情
パワハラから職員を守る香川県民の会
代表 森 一博

議員配布

定例会・臨時会 提出議案への各議員賛否表

賛否のあった議案のみ記載しております。 ○賛成 ●反対 -議長 欠(欠席)

| 議案番号・議案名 | | 採決 | 鎌倉大祐 | 溝淵裕子 | 川波礼子 | 福家昭三 | 岡昌吾 | 友保陽子 | 安西進 | 中川和樹 | 森本晃司 | 市原信夫 | 鈴木宏明 | 小島重俊 | 富田修司 | 渡辺達実 | 筒井米市 |
|----------------|---|----|------|------|------|------|-----|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 第1回臨時会 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 議案第1号 | 工事請負契約の締結 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ● | ○ | ○ | ○ |
| 議案第2号 | 専決処分の承認(令和7年度三木町一般会計補正予算(第6号)) | 承認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第3号 | 専決処分の承認(令和7年度三木町一般会計補正予算(第7号)) | 承認 | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第4号 | 令和7年度三木町一般会計補正予算(第8号) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第1回定例会 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 議案第1号 | 工事請負契約の締結(虹の滝キャンプ場整備工事) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第2号 | 三木町使用料、手数料徴収条例等の一部を改正する条例の制定 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ● |
| 議案第3号 | 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第4号 | 三木町税条例等の一部を改正する条例の制定 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第5号 | 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第6号 | 三木町火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第7号 | 三木町印鑑条例の一部を改正する条例の制定 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第8号 | 三木町インターネット上の誹謗中傷等の防止に関する条例の制定 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第9号 | 三木町子育て支援券交付条例を廃止する条例の制定 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第10号 | 令和7年度三木町一般会計補正予算(第9号) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第11号 | 令和7年度三木町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第12号 | 令和7年度三木町介護保険事業特別会計補正予算(第3号) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第13号 | 令和7年度三木町介護予防サービス事業特別会計補正予算(第1号) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第14号 | 令和7年度三木町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第15号 | 令和7年度三木町下水道事業会計補正予算(第2号) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第16号 | 令和8年度三木町一般会計予算 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ● |
| 議案第17号 | 令和8年度三木町国民健康保険事業特別会計予算 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第18号 | 令和8年度三木町介護保険事業特別会計予算 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第19号 | 令和8年度三木町介護予防サービス事業特別会計予算 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第20号 | 令和8年度三木町後期高齢者医療事業特別会計予算 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ● |
| 議案第21号 | 令和8年度三木町下水道事業会計予算 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第22号 ~40号 | 農業委員会委員の任命 | 同意 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 市原信夫 | 鎌倉大祐 | 筒井米市 | 渡辺達実 | 富田修司 | 小島重俊 | 鈴木宏明 | 森本晃司 | 中川和樹 | 安西進 | 友保陽子 | 岡昌吾 | 福家昭三 | 川波礼子 | 溝淵裕子 | 議員氏名 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|-----|------|------|------|------|
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 1/29 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 3/4 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 3/6 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 3/9 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 3/11 |
| × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 3/16 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 3/17 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 3/19 |

第1回臨時会(1月)

第1回定例会(3月)

議員出欠表

〈本会議のみ〉

○ 出席 ● 半欠 × 欠席

一般質問

ホームページでは
すべての一般質問の動画を
ご覧いただけます

| 質問者 | 質問事項 | ページ |
|-------------------|--------------------------|-----|
| なかがわ かずき 中川 和樹 | ◇ 公害対策 ◇ 多面的機能支払交付金制度 | 10 |
| わたなべ たつみ 渡辺 達実 | ◇ 新年度予算 | 11 |
| ふけ しょうぞう 福家 昭三 | ◇ 環境対策 | 11 |
| おか しょうご 岡 昌吾 | ◇ 防災減災対策 ◇ 消防行政 | 12 |
| みぞぶち ゆうこ 溝渚 裕子 | ◇ 地域福祉・障害者雇用 | 12 |

公害対策

問 三大感覚公害についての本町の対応は

答 事案ごと個別に対応している



つぶやき
公害が
日々の暮らしを蝕む

問 騒音、振動、悪臭の三大感覚公害についての考えと、問題が発生した場合の対応は。

答 環境下水道課長

本町は、用途地域を指定していないため、規則をかけることになると都市計画区域全域を対象に一律の規制となる。デメリット等を鑑み、問題が発生した場合、事案ごと個別に、関係機関と協働して対応する。

問 三大感覚公害を他市町同様に厳しく定めては。

答 環境下水道課長

規制地域が設定されて

いない本町において、条例を定めることが適当であると現状は考えていない。

今後は、状況の変化を注視し、法による規制や条例制定について、調査研究を行っていく。

多面的機能支払交付金制度

問 活動組織と事務局を町全域で一つとする考えは。

答 農林課長

活動組織が抱える課題解決に向け、引き続き土地改良区と、県や県土地改良事業団体連合会とともに、活動組織の広域化や事務委託に向け協議を進めていく。



新年度予算

問 新年度の方針、重点事業を問う

答 認定こども園の整備を進めていく

より園舎の建築工事を本格的に開始し、来年2月末の完成を予定している。

答 こども課長

認定こども園は、4月より園舎の建築工事を本格的に開始し、来年2月末の完成を予定している。

答 町長

三木町総合計画に基づく取組を着実に進めていく。社会保障関係費の増加、資源価格や人件費の高騰による経常経費の増加に加え、大規模な建設事業に取り組んでいることもあり、基金に依存せざるを得ない非常に厳しい状況に置かれている。



渡辺 達実 議員



つづやき
アメリカ・イスラエルの無法なイランへの攻撃、石油が高騰した

問 新年度に向けた基本方針と重点事業を問う。

白山文化センター整備に向けて準備を進めている。新こども園と隣接しており、地域に調和の取れた一体的な雰囲気を作成し、親しみやすい施設となるよう工夫している。

答 人権推進課長

答 教育総務課長

三木町学校等施設長寿化改修計画を策定し、施設の長寿命化を図るため、順次、整備事業に着手していく予定。



▲平井小学校

環境対策

問 ゼロカーボンの実現可能性は

答 2030目標値達成は厳しいか

現には、行政が率先して取り組む姿勢が町

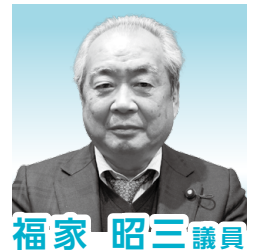
問 ゼロカーボン実現には、行政が率先して取り組む姿勢が町

2050年までのカーボンゼロをめざすために5つの基本方針を設定し、分野ごとの施策を推進している。

答 環境下水道課長

温室効果ガス排出量の数値目標が示されている。公表データでは2030年の目標値と一定の乖離があるが、どのように進めるのか。

問 温室効果ガス排出量の数値目標が示されている。



福家 昭三 議員



つづやき
環境は道半ば、報告書は最終形

民への強いメッセージになるかと考えるが、職員の行動変容の必要性についてどう考えているのか。

答 総務課長

町職員は、昼休みの執務室内消灯やウォームビズなど、日常的に率先して取り組んでいる。

問 公共施設の省エネ化・再エネ化は確実に効果が見込める分野で主体的に取り組むべきでは。

また、LCCの考え方も重要だと考えるが町の見解は。

答 環境下水道課長

ゼロカーボンの実現は光熱費の削減や財政の健全化にも具体的な効果をもたらすと認識している。施設計画や財政面等、多角的見地から取り組んでいく。

防災減災対策

問 防火水槽陥没事故のその後は

答 地域の特性を考え、個別に対応する



岡 昌吾 議員

つぶやき
多すぎる情報が
混乱を招く

問 防火水槽の減少は、地域における消防力の低下につながるのか。

答 総務課長

防火水槽を廃止する場合は、地域の特性などを考え個別に対応していく。

消防行政

問 毎年、全国で100名以上の消防団員が公務災害にあつている。任命する町は、安全に対する責務を十分に果たさなければならぬ。消防団危険予知訓練(SIKYT)の導入は。

答 総務課長

団員の安全確保は重大な責務だと考えている。調査し導入に向けて取り組んでいく。

問 防災DXの推進をどのように考えているのか。

答 総務課長

災害時の情報を的確に集約し、適切な意思決定をする上で大切だと考える。今後、調査研究していく。



地域福祉・障害者雇用

問 町の抱える福祉の課題は

答 複雑化し、孤立なども増えている



溝淵 裕子 議員

つぶやき
その人らしく
暮らせるまちを

問 三木町地域福祉計画は、高齢者・障がい者・子ども子育ての理念等を定めている。5年ごとに策定し、今年が最終年となる。

次期策定にあたり、新たな課題、重要点は。

また、障がい者が地域で暮らすための自立支援の取組は。

答 福祉介護課長

近年は8050問題、依存症者への支援、地域の弱体化による孤立など、新たな課題が出てきている。

今後、分野を越えた仕組み、孤立世帯の掘り起こし等、誰一人取り残さない体制整備を進めたい。

障がい者の自立支援については、地域生活支援拠点の活用や関係機関との連携を図る等して、地域移行への取組を進めている。

問 本町の障害者雇用は、法定雇用率を下回る時期があった。町が率先して雇用し、モデルになるべきだ。今後の採用、定着に向けた取組は。

答 総務課長

本人の体調不良による退職で、雇用率を下回った。現場実習を体験した新卒者1名を4月から採用予定である。

今後、総務課職員が障害者職業生活相談員資格を受講し、活躍できる職場づくりに努める。

委員会レポート

総務建設常任委員会

令和8年2月5日

入札契約制度

本町では、公共工事等の質の向上と適正な契約制度を推進するため、競争性、透明性、公平性を確保しつつ、価格と品質が総合的に優れた入札契約の実現を図っている。

設計・積算の質の検証や工事履行管理、入札方式、落札方式を明確な基準に従って適切に対応している。また、令和4年度より電子入札システムを導入して、効率化に努めている。

入札の主な工程

- ① 発注計画・仕様書作成
- ② 審査依頼
- ③ 審査委員会
- ④ 入札



- ⑤ 契約締結
- ⑥ 工事施工
- ⑦ 施工監理・完了検査

入札参加者は、入札参加資格者名簿を基に業者選定を行う。指名競争入札では地元業者の受注機会の確保に努め、一般競争入札では、不良不適格業者の排除や品質確保を目的とした条件を設定している。

本町の厳しい財政状況を踏まえ、常に事業コスト縮減や工期短縮を図るための手法を検討している。予定価格や最低制限価格制度を活用して、透明性や適正品質を確保し、ダンピング防止にも努めている。

問 鈴木委員

予定価格は事後公表としていますが、事前公表する予定はあるのか。また、その理由は。

答 契約監理課長

三木町建設工事等予定価格事後公表要綱に基づき行っている。見直し予定はない。予定価格が目安になり、競争の制約や落札価格の高止まりや談合の可能性を生むためである。

問 福家委員長

工事の前払金制度は導入されているのか。その保証は。

答 契約監理課長

前払金は契約金額の40%以内で支払うが、保証契約を条件として、適切に対応している。

ふるさとピア尾崎団地 分譲事業

本事業は平成6年度から香川県が事業主体となり、国の補助金と町及び地元負担金を財源とした事業で、創設非農用地換地(※)により住宅用地とし、分譲する計画であったが、土地価格の下落や造成

費高騰など諸事情で延期されていた。

今般、住宅用地としての分譲に限定せず、有効活用できるように検討することにした。

そこで、町が土地開発公社から土地を購入することになった。

※創設非農用地換地とは

区画整理事業などで新たに生み出された土地を農地でなく宅地などの非農用地として割り当て(換地)仕組み。

問 富田委員

イチゴハウスや周辺の農業環境に合わせた新規就農者に貸し出しするなど、有効活用できないか。

答 町長

当該土地については柔軟な有効活用が可能になったが、市場動向を見ながら、保有・売却を検討し、活用方法を判断していく。

教育民生常任委員会

令和8年2月9日

生涯学習課所管施設の 利用状況

生涯学習施設は、児童から高齢者まで住民に学習・活動の場を提供し、地域交流や防災拠点としても重要。

公民館は講座、放課後子ども教室、活動発表会などを実施。神山・井戸公民館は利用団体が少ない状況。

運動施設は総合運動公園を中心に利用が盛ん。小中学校体育館の夜間開放は利用が非常に多い。

問 中川委員

自由に利用できるスペースはあるのか。

答 生涯学習課長

公民館は予約不要・無料の図書室兼会議室、地域交流センター等は図書コーナーを設置しており、自由に利用できる。

問 安西委員

運動施設の埋まり具合、部活動の外部施設利用は。

答 生涯学習課担当

小中学校体育館は、夜間ほぼ毎日埋まる。総合運動公園等は、平日日中に空きがあるが、夜間は集中している。

答 教育長

部活動の外部利用は、現時点で具体的な計画はない。

公共施設予約システム

利便性向上や予約業務の自動化などのメリットがある一方、導入費用、IT弱者への支援、障害時対応など課題も多い。令和7年度アンケートでは高齢者層に反対が多く、慎重な検討が必要。

問 鎌倉副議長

一部施設で試験導入できないか。

答 町長

デジタル化は重要だが、先行市町の課題や県内状況を踏まえ慎重に検討する。

三木町認定こども園

- 新こども園名称は「みきの子こども園」とする予定。令和9年度より町立2園を幼保連携型認定こども園として再編。

- 一時預かり事業を移設し、多様な保育ニーズに対応。

- 定員は、ししの子100名、みきの子120名(計9クラス)。

- 令和8年6月頃に保護者説明会、10月末より入園申込受付開始予定。

- 利用時間は認定区分に応じて設定。廃園施設では感謝イベントを実施予定。

- 体操服は就学前施設から中学校まで統一し、保護者負担軽減を図る。

問 溝渕委員

職員はスライド配置されるのか。

答 教育総務課長

入園申込状況を踏まえて職員配置を検討し、必要な保育教諭を確保する。

問 溝渕委員

新体操服は保護者負担にならないか。

答 教育総務課長

価格は多少上がる可能性があるが、統一により長期間使用できるメリットがある。



夏用 ▲新体操服 冬用

決算指摘事項

町長はこう答えた！



町は、議会の意見書に対し、公共施設整備や子育て支援、防災対策など、6つの分野について今後の取組を示した。

公共施設整備と健全財政の維持

認定こども園や白山文化センターの整備に続き、今後は学校施設など多くの公共施設の改築や長寿命化改修が予定されている。

一方で、基金残高は減少しており、実質公債費比率など財政指標の動向にも注意が必要な状況となっている。

ふるさと納税は制度見直しの影響で減少していたが、中間事業者への業務委託により、4年ぶりに前年度を上回る見込みである。町は返礼品の充実などに取り組み、寄附金の確保に努めるとしている。

また、物価や人件費の上昇による歳出増加も見込まれることから、行財政改革基本方針に基づき、事業の見直しを進めていく。

公共施設の維持管理

文化交流プラザとサンサン館みきは、地域文化や生涯学習、健康づくりの拠点として多くの住民に利用されている。

しかし、建設から20年以上が経過し、老朽化が進んでいる。両施設の維持管理経費は年間約2億円に上る。町は開館時間の見直しや使用料の適正化などを検討し、持続可能な施設運営をめざすとしている。



子育て・教育環境の整備

核家族化や地域のつながりの希薄化により、子育て家庭が孤立しやすい状況がある。町では母子保健と児童福祉を一体化した「子ども家庭センター」の開設準備を進め、妊娠期から子育て期まで切れ目のない相談支援を行う。

また、ひとり親家庭の子どもへの学習支援や、不登校対策としてスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを配置し、学校や地域と連携した支援を進めていく。

高齢化社会への対応

高齢者が安心して暮らせる地域づくりをめざし、介護予防教室や見守りボランティア、認知症カフェなどの取組が行われている。

成年後見制度については、社会福祉協議会、福祉介護課、地域包括支援センターが連携し体制強化を進めるほか、市民後見人の養成も行っている。

また、緊急時に備える「まんできんレスキューカード」の普及にも取り組む。

危機管理体制の強化

香川県の新たな地震被害想定では、本町の避難所避難者数が増加する見込みとなっている。町では自主防災訓練で避難行動や避難所設営などの実践的な訓練を実施している。

今後も家庭での備蓄や防災意識の向上を図るとともに、自主防災組織活動費補助金制度を活用し、地域防災力の強化を進めていく。

魅力ある地域づくり

同和問題をはじめとするさまざまな差別問題に対し、研修や啓発活動を継続して行う。

また、秋大祭「獅子たちの里三木まんて願。」や観光協会との連携を通じ、獅子舞などの伝統文化や地域資源を活かしたにぎわいづくりを進め、住民が誇れるまちづくりにつなげていく。

元気な グループ

紹介

テニスサークル太古の森

代表 石原 勉

〜楽しみ続けて30年〜

テニスサークル太古の森は、一般社団法人さぬき三木スポーツクラブに所属するスポーツクラブです。クラブの前身は、町内外のテニス愛好家が集まり、硬式テニスを楽しんでいましたが、現三木総合運動公園テニスコート四面の整備を期に、硬式テニスクラブとして発足し、約30年以上活動し現在に至っています。

毎週土、日曜日と祝日に同運動公園テニスコートで午前9時から12時までの3時間、年間に約50回練習しており、平均参加者数は約20名で楽しく汗を流しています。現在の

クラブ登録人数は30名、年齢30〜80歳(平均年齢約50歳)で会員の高齢化は進んでいます。

クラブとしての細かな規則等はなく、「ケガをしないように気軽にテニスを楽しむ」ことをモットーとしており、クラブの主な行事は、①コート整備(全員参加・年2回)、会員相互の親睦として②夏のビアガーデン(希望者のみ)③秋のテニス合宿(希望者のみ)④冬の忘年会(希望者のみ)を毎年行っています。

また、香川県テニス協会、高松テニス協会に三木テニスクラブとして登録しており、上記協会主催のテニス大会への参加が可能です。



硬式テニスに興味のある若者(中学生以上)の入会を歓迎いたします。

お気軽に議会を傍聴しませんか

本会議の傍聴人の定員は30人です。

●お問い合わせは、議会事務局へ
☎087(891)3311

次の定例会は
6月上旬の
予定です。

インターネット中継
サイトはこちら



編集を終えて

3月11日で東日本大震災から15年の月日が過ぎた。かけがえのない多くの命が失われ、ご遺族の悲しみはいかばかりかと拝察する。

備えよ常に

この言葉に尽きる。三木町に、いつ来るかわからぬ災害から、自分自身で守れるよう常に備えて生きたい。

岡 昌吾



議会だよりは私たちが
編集しています。

- 編集委員長 溝淵 裕子
- 同副委員長 友保 陽子
- 同 委員 森本 晃司
- 同 委員 中川 和樹
- 同 委員 岡 昌吾
- 同 委員 福家 昭三
- 同 委員 川波 礼子
- 同 委員 鎌倉 大祐